

社会を明るくする運動

高校生の部優秀作文

犬と創る明るい社会

菊池農業高等学校3年 遠山桃々乃さん



私は大阪府の大阪市で生まれ育ちました。コンクリートと高層ビルで囲まれた私の故郷の空は四角く切り取られ、行き交う人々の顔もそんな空のようどこか硬い表情です。私が熊本に来たのは高校進学がきっかけでした。小さい頃から動物が大好きで、動物が沢山いる菊池農業高校に入学しました。初めて来た菊池は空が広く、明るく、道を歩く人に挨拶すると、それ以上の元気で笑顔で挨拶を返してもらえます。私はすぐに菊池が大好きになりました。スポーツドッグ部という部活に入部した私は、「希子」に出会いました。十九頭いる犬の中で、一目見た瞬間から「私にはこの子しかいない！」と確信にも似た強い想いを抱きました。入学して一ヶ月経った頃私は、いつも良くして下さっている先輩からある誘いを受けました。「一緒にふれあい動物園に行ってみん？学校の犬を連れて、菊池の軽トラ朝市でお客さんに犬とふれあってもらおうよ。希子も毎月行つとるけん。」なんて楽しそうなんだろう？」当時の私は、深く考えることもなく、喜んでついていきました。そこで見た光景は本当に素敵で、私は感動を覚えました。犬が尻尾を振り、子どもが笑い、大人も笑顔になる。「こんな明るい空間を私たちの大好きな犬が創りだしている。」そう感じた私は、ふれあい動物園を運営することに興味を持ちました。

それから毎月の軽トラ朝市に加え、動物愛護祭りや、生涯学習フェスティバル等、菊池のイベントでのふれあい動物園に進んで参加しました。お客さんに犬を抱いてもらう方法や、犬を怖がる子どもに犬を好きになってもらう方法等、私は沢山のことを先輩から学び、学ぶたびにお客さんの笑顔が増え、いくのを感じました。「お客さんの笑顔は、明るい空間は犬だけが創っているんじゃない。人と犬が協力するふれあい動物園でこそ創れるものなんだ！」私は希子と共にふれあい動物園で、人を笑顔にすることが毎月の楽しみにになりました。

先輩が卒業してしばらく経った頃、熊本を大きな地震が襲いました。私の大好きな菊池でも大きな揺れがあり、寮でそれを体験した私は農場にいる希子が心配で、先生が犬たちの無事を知らせて下さるまで泣き続けました。同じ敷地内に居ながら希子に会えたのは次の日の昼ごろでした。怖い想いをしたはずなのに、笑顔を見せて尻尾を振ってくれる希子とふれあい、元気を取り戻した私は思いました。「傷ついた菊池に、希子たちと笑顔を届けたい！」菊池は目に見える被害は少なかったものの、往來の店が閉まり、余震の影響か、行き交う人も減っていました。私は次の軽トラ朝市を待ち続けました。地震の後、初めての軽トラ朝市は5月になりました。変わらない出店者の

プラチナ未来人財育成塾

参加報告

プラチナ未来人財育成塾の研修報告

菊池南中学校3年 池邊日路務さん



僕は八月三日から八月七日の五日間、プラチナ未来人財育成塾に参加してきました。初日。当時の僕は一つの大きな不安を抱えていました。それは、各県から集まった中学生との五日間の共同生活に、自分は馴染みきれぬのか、と言うことでした。講義を聞くことについては、何も不安は無かったのですが、あまりお互いをよく知らない人達との交流は自分にとってとても難しい課題でした。しかし日を重ねていくにつれ、周りの人達が僕に対して気さくに、優しく接してくれたことで、集団に馴染めるようになり、そんな不安はすぐに消えました。

そんな充実した五日間でしたが、その中で沢山の著名人の講義の内、特に自分にとって得るものがあった、四人の方々の話をしようと思います。

一人目は、小西龍治先生の話です。この講演を聞いて、僕はとてもリーダーについて考えさせられました。リーダーは身を持ってあらゆることを引き受ける。この言葉は、今の自分が持つべき課題の一つだと思います。

僕は菊池南中学校を引っ張っていく生徒会役員の一員として、書記にたずさわっています。小西先生がおっしゃった、身を持ってあらゆることを引き受ける。それがきちんと出来ているのか、とても悩みました。リーダーとして、役目を果たせていないのではないか、生徒会役員の一員とは、ただ

の肩書きだけではないのか。リーダーとは、形ではなく自分自身の志から成るものだと、この時実感しました。それまで他人の目を気にしていた自分では、とうてい務まらない役割だと思えました。書記と言う形にはまるだけでは、学校を動かす力は持てません。小西先生いわく、「常に自分より上と思われものに挑戦する」ことが、リーダーの素質を育てる近道だと思っています。

次に、菊池康紀先生の講座です。これを聞いて僕は、リーダーに対する考えの視野が広くなりました。どんなにリーダーシップの素質を持とうと、それを支えてくれるフォロワーがいなければ影響力はないのだと思いました。また、すべきこととして、先を見据えること。出来ることとして、努力は必須と言うこと。したいことを考えるためにも、固定観念を捨てること。この三つも強く心に残りました。

次に御手洗瑞子先生の話で、とても感銘を受けたことがありました。自分がこれからのに向けて目標を組み立てていく上で、とても大事なことです。まず、自分の志、羅針盤となるものを見つけておくことです。岐路や課題に直面したとき、自分がどう動くか決めておく。自分のスタンスを持つことが、自分の理想的な夢を描き、実現に導いていくのだと思いました。また、色々な事に触れ、色々な事に関心を持つことで、より多くのものに思いやりを持てるの

だなど思いました。そしてこれらの行動は明日や明後日、明々後日からじゃない、今日から始められる。思い立ったらすぐさま行動に移すことが大事なんだと実感しました。

最後に、為末大先生の話を受けて、僕は自分のやりたい事、出来る事、それらが全て明確なものになりました。出来る事の範囲、自分の限界は定まることは無いのだと分かりました。先生の言ったように、僕は今まで「常識が限界だ」と思っていました。そう思っている以上は、自分の想像の範囲でしか物事は動かないのだと思いました。また同時に、常識は誰かの手で、例えば自分にも変えられるものなんだと、自信が生まれました。為末先生の話聞いて、自分の中にあつた気の迷いが無くなった気がしました。

この研修に参加して、僕はリーダーの素質、そしてそれを取り巻くフォロワーの重要性、自分が生きていく中で価値観を育てていき、固定観念にとらわれないようにすること、これらを学び、知ることが出来ました。

これからは周りの考えをすぐろのみならず、自分の意思を持って物事を判断していこうと思います。この五日間での多くの方々との交流や講義は、自分にとって大変意味のある活動でした。自分が聞いたことで、得たこと、これから経験していくことをもとに、将来の自分を築いていこうと思います。